

平成 1 8 年度
教員との討論会
報告書

外部評価委員会 学生委員会

目 次

I. 概要	-----	1
II. テーマ 1 「授業に対する意見」	-----	1
III. テーマ 2 「開講して欲しい科目」	-----	3
IV. その他の学生からの意見	-----	3
V. 教員からの質問	-----	3

I. 概要

① 日時

平成 19 年 3 月 8 日 13 : 30～15 : 00

② 場所

本館第 2 会議室

II. テーマ 1 「授業に対する意見」

1. 有田先生に対する意見

① 授業に遅刻しないで欲しい。

⇒ 学生の集合が遅いようなので、ゆっくり授業に行っていましたが、これからは時間を守ります。

② テストを返却して欲しい。

⇒ 返却します。

③ 再試を実施して欲しい。

⇒ 再試をすると、通常のテストで手を抜く学生がいるので、やっておりません。今のところは、その方針です。

④ 水理 B で演習を増やして欲しい。

⇒ 授業中に今よりも演習を実施するのは、時間的に厳しいです。予習・復習に適した教科書を紹介しているので、自己学習をしっかりとって欲しい。

2. 岩城先生に対する意見

① 授業資料（パワーポイント）を授業前に配布していただきたい。

⇒ メモをとる技術を身に付けてほしいので、資料を配布しておりません。私自身もそういう授業を受けており、現在、メモを取る技術はとても役に立っています。

② 演習をやってはどうか。

⇒ 製図が演習と思っています。建築の講義としては、講義と設計と製図が、セットになっているイメージでやっていますので、講義の内容を製図で生かして欲しいです。

③ 授業外で課題をプリントアウトできるようにして欲しい。

⇒ 自分でプリントアウトできるようになって欲しいので、現在はサポートしておりません。次回からは、ダウンロードから JW-CAD のインストール方法を教えます。

3. 松井先生に対する意見

① 説明が全体的にまとまっていないので、授業前に組み立てを考えてはどうでしょうか。

⇒ 生徒の反応を見ながら授業を進めると、前回までの授業を理解していない様なので困っています。また、今年は成績が一様分布だったので、ターゲットが絞れなかったのも事実です。学生には分からない事は、すぐに質問に来て欲しいと思います。

② 宿題の提出が授業の翌日となっていますが、授業情報へのアップが遅いのでどうにかして欲しい。

⇒ 早く復習をして欲しいので、翌日の提出にしています。また、授業中に配布しないのは、授業中に宿題をやってしまうのを防ぐためです。しかしながら、たくさん苦情があるようなので、少し方法を考えます。

- ③ 授業情報へのアップが不定期なので、もう少し定期的にして欲しい。

⇒ 毎回、Word で作成しているので、少し時間がかかっています。できるだけ改善します。

- ④ 宿題が英語なのはなぜですか。

⇒ 他大学では、英語の教科書を使っているところがあります。また、他学科ではゼミによる専門用語の英語の授業があります。G 科はそういう授業がないので行っていましたが、あまり教育効果がないので、日本語に変更しようと思っています。

4. 見村先生に対する意見

- ① 板書を丁寧に行って欲しい。

⇒ 最近は「ゆっくり・大きな字・丁寧」を心掛けて書くようにしています。たくさん書いてしまう理由としては、学生の皆さんがあまりノートを取っていないからです。色々な情報を黒板に書き、学生の皆さんが、ノートの取り方を工夫するようにしてくれたらと思っています。

- ② 授業が専門すぎる。

⇒ 現在の授業内容が専門的すぎると言われたら、何を教えて良いか分かりません。今の内容を知らずに社会人になると、苦勞すると思います。授業では、国家Ⅱ種、技術士補、コンクリート技士等の試験問題を参考にして同程度のレベルで教えています。したがって、これ以上は、簡単にできません。

- ③ 鉄筋コンクリートでの演習書のようなものを紹介して欲しい。

⇒ 実際の設計が演習になると思いますので、空間デザインが演習（例えば、擁壁の設計など）に相当すると思います。

5. 高田先生に対する意見

- ① 演習をもっと実施して欲しい。教科書の後ろに解答はありますが、解説がないので苦勞しています。

⇒ 考えます。

- ② テストについて事前チェックや電卓使用について徹底して欲しい。

⇒ 来年からしっかり行います。

- ③ 確率・統計学を実際にどのような場所で使うのか、応用のイメージを伝えると学生も身が入ると思う。。

⇒ 以前からやりたいと考えていますが、なかなかできませんでした。努力してみます。

6. 中井先生に対する意見

- ① カラーの方が良い資料もあるので、そういった物はカラーにして頂きたい。

⇒ 了解しました。

7. 井上先生に対する意見

- ① 黒板の書き方。

⇒ 昨年はお病気のため、視力が落ちていたので、板書が汚かったと思います。

8. 吉本先生に対する意見

- ① ○×形式の演習を実施していたが、何が間違っているのか良く分からない場合があったので、記述式や穴埋め式の演習を実施して欲しい。

- ② テスト問題が、配布プリントからの出題より、参考図書からの出題の方が多かった。参考図書なので購入していない生徒も多いので、出題傾向を変えて欲しい。

Ⅲ. テーマ 2 「開講して欲しい科目」

- ① 資格試験に直結する科目を開講して欲しい。
- ⇒ (松井先生) 今までも議論していますが、なかなかできないのが現状です。また、あまりに資格を優先すると、専門学校のようになってしまいますので、それは避けています。
- ⇒ (岩城先生) CAD 検定については調べてみます。
- ② インテリアデザイン。
- ⇒ (岩城先生) やったら面白いので、やりたいです。時間的な問題もありますが、検討してみます。

Ⅳ. その他の学生からの意見

- ① 苦情を聞いてくれる教員がいると良い。
- ⇒ 若い先生を中心に、サポート部門の設置を考えます。
- ② 非常勤の先生に副手を付けてはどうでしょうか。
- ⇒ 可能ですが、ポイントの関係もあるので検討してみます。

Ⅴ. 教員からの質問

- ① (安田先生から) 演習の方法はどのような方法が良いか。
- ⇒ 現在の方法は、3回の授業で1回となっており、3週間前の内容は忘れてしまうので、毎回やって欲しい。
- ⇒ (安田先生) ある程度まとめてでないと、問題が出せない場合もありますが、検討してみます。
- ② (岩城先生) カリキュラムや時間割について、意見はないでしょうか？
- ⇒ 3年に環境系が多いので、2年次にも3年の科目を履修できるようにしてはどうか。
- ⇒ 環境系や景観工学等は、数学の知識も必要なく、1年でも取れるので、3年である必要は無いと思います。
- ③ (井浦先生) 各授業の中で改善が行えるシステムが作れると良い。